

『(公財)中島記念国際交流財団助成』(独)日本学生支援機構留学生地域交流事業

国際理解教育講師等派遣事業

ワールドキアラバン

令和5年度報告



主催：茨城県国際理解教育推進協議会

- ◆茨城県教育庁学校教育部義務教育課
- ◆茨城県教育庁学校教育部高校教育課
- ◆茨城県教育庁学校教育部特別支援教育課
- ◆茨城県教育庁総務企画部生涯学習課
- ◆茨城県営業戦略部国際渉外チーム
- ◆独立行政法人国際協力機構筑波センター
- ◆茨城地域留学生交流推進協議会
- ◆公益財団法人茨城県国際交流協会

ワールドキャラバンとは

県内の学校や、生涯学習関係機関、並びに国際交流団体等が国際理解の促進を目的とした事業を行う際に、外国人等講師や参加型学習のためのファシリテーターを派遣する制度です。参加者に、外国人と直接対話する機会や、開発教育のワークショップ等を体験する機会を提供することによって、国際理解を深め、国際社会で活躍できる人材の育成を図ることを目的としています。

小学校事例

神栖市立軽野東小学校

学校長：大里 恵
実施日時：令和5年11月15日(水) 11:00~14:30
実施場所：教室
対象：3年生38名、4年生31名
講師：王 傑さん/中国/各国事情紹介講師

【活動内容】

- 中国の文化・歴史・気候について
- 紙工作
- 衣装着用体験

【児童の感想】

- ◆ 中国について初めて聞く事ばかりでとても面白かったです。中国のことをもっと知りたいと思いました。
- ◆ 中国の服を着て楽しかったです。切り絵や中国の遊びをもっと長い時間やって良かったです。
- ◆ 中国語を覚えたいと思うようになりました。



【先生の感想】

- ◆ 中国の文化・歴史・気候について、写真などの視覚教材や、具体物を用いて分かりやすく説明していただきました。また、紙工作や衣装体験も活動内容に組み込んでいただけたことで、児童にとって中国の文化を身近に感じることができ、中国への理解がより一層深まるような大変貴重な機会となりました。
- ◆ 講師の方が学校側の要望に応じてくださり、実際に触ったり、踊ったり、遊んだりといった体験活動の数々を用意して頂きました。児童たちも夢中になって楽しんでた姿がとても印象的です。
- ◆ 用意された資料に児童は興味津々でした。学校職員の教材研究だけでは語れない中国の実生活について聞くことができ、児童だけでなく職員にとっても大変有意義な時間となりました。



古河市立古河第六小学校

学校長：外山 薫
実施日時：令和6年2月20日(火) 13:35~15:10
実施場所：教室
対象：5年生71名
講師：王 清さん/中国/各国事情紹介講師
永野 アンナ 菜穂子さん/ブラジル/
各国事情紹介講師

【活動内容】

- 講師の自己紹介 ● 出身国の文化紹介
- 伝統的な道具等の実物紹介
- 児童からの日本文化紹介
- 児童からの学習したことの発表

【児童の感想】

- ◆ 実物を見ることができて嬉しかったです。
- ◆ 日本語で分かりやすく話してくれて良かったです。
- ◆ スライドや資料が綺麗で分かりやすかったです。
- ◆ 他の国のことがよく知れました。
- ◆ 私たち児童の発表を真剣に聞いてくれて嬉しかったです。



【先生の感想】

- ◆ 母国語と日本語の共通点や、母国の自然、料理、日本でも馴染みのある母国の会社など、語学的な話から、児童が興味を持てる内容まで、限られた時間の中で幅広く話して頂けたので、とても勉強になったと思います。
- ◆ 講師の方のお話が上手で、スライドも分かりやすかったので、児童たちは熱心に聞いていました。また児童からの質問にも丁寧に答えて頂き、総合的な学習の時間における学習内容として、大変有意義な時間となりました。
- ◆ 現地の方だからこそ伝えられる内容が児童に伝わり、国際理解に興味を持つことができたように感じます。講師のお二人が用意して頂いた資料等も、児童たちは興味深く見ていました。



茨城県立並木中等教育学校

学校長： 深澤 美紀代
実施日時： 令和5年10月30日(月) 13:15~15:35
実施場所： 教室、総合実践室
対象： 1年生160名
コーディネーター： 庄司 京子さん
講師： 馬 源さん/中国/留学生親善大使
 グエン ティ クイン チャンさん/ベトナム/留学生親善大使
 大森 パトリシアさん/ブラジル/各国事情紹介講師
 セイフェン ジャワさん/フランス/県国際交流員(CIR)

【活動内容】

- 母国語のあいさつ
- 自己紹介
- 中国、ベトナム、ブラジル、フランスの紹介
(子どもたちの生活の様子、学校、遊び、民族衣装、文化など)
- 質問タイム
- 衣装の試着

【生徒の感想】

- ◆ 中国で生活している同い年の中学1年生を紹介して貰いました。国や親が違うだけで自分とこんなにも生活が違うことに驚きました。
- ◆ ベトナムの発表で、国旗は国民が大事にするものだと思いました。また複雑に見えるブラジルの国旗については、「国旗を見ればその国の全てが分かる」と講師の方から聞き、とても興味深かったです。別の国でも試してみたいくなりました。
- ◆ サンバの音楽体験が特に楽しかったです。僕はマラカスのような楽器を担当しましたが、その他にもこれまで出会ったことのない風変わりな楽器が沢山あると知りました。「色々な種類の楽器」は「様々な民族の融合」であって、サンバというのは「平和の象徴」であるという先生からの説明に共感しました。
- ◆ ベトナムの生活と中国の生活が似ていると思いました。ベトナムの戦争について聞いて、もう一度戦争の様子を動画で見てみようと思いました。ベトナムはいつか行ってみたいと思っていて、発表も分かりやすかったので、より強く行きたくくなりました。



【先生の感想】

- ◆ 時間に限りがあったにも関わらず、スライドやクイズ、楽器・民族衣装体験など、生徒が興味の湧く発表をしてくださり、とても実りのあるプログラムでした。講師の方の出身国に偏りが無かったことも非常に良かったです。現地の人のお話を聞くことが、どれほど生徒の心を動かすものなのかを、改めて感じる事ができました。反省点として、もう少し時間を確保できていれば、質問タイムをしっかりと設ける事ができたと思いました。来年度は、生徒たちがより主体的に参加できるよう、ワークショップ形式による交流ができたかと考えております。



日立市立坂本中学校

学校長： 諸橋 正和
実施日時： 令和5年12月12日(火) 11:00~13:30
実施場所： 教室
対象： 1年生4名、2年生14名
講師： ピエイ ソン アウンさん/ミャンマー/留学生親善大使

【活動内容】

- 文化(衣食住)の紹介
- 言語について
- 国内情勢について
- 昼食会

【生徒の感想】

- ◆ 首につけるリングが印象に残りました。その地域では、生まれてから亡くなるまでずっとリングを首に付けているそうです。他にも、衣食住や各地の特色など、動画を見ながら知ることができました。
- ◆ 建国の歴史や、民族文化を詳しくかつ分かりやすく教えてくださいましたので、心に残りました。日本では見かけることがないものばかりを紹介して貰ったので驚きました。
- ◆ 国名は知っていたけど、知らないことばかりでした。一番印象に残ったのは、ミャンマーではお茶の葉をお菓子として食べることです。とても驚きました。他にも、民族の伝統的な踊りについて知ることができました。
- ◆ 今回話を聞いて、ミャンマーの伝統や衣食住、国旗などについて知ることができました。特に、各地域にあるダンスの紹介が印象に残りました。今回の学習を通して、日本人だけでなく、他の国々の人との交流は大切だということがわかりました。



【先生の感想】

- ◆ 教科書だけではわからないことをたくさん紹介して頂いたので、生徒だけでなく教員側としても大変勉強になりました。
- ◆ 事前に生徒に向けて実施したアンケートをもとに、講師の方には発表内容を依頼しました。そして当日、こちらの依頼に沿った内容で発表していただいたのでとても良かったです。
- ◆ 写真や動画がたくさんあり、視覚的に分かりやすい発表スライドを用意していただきました。また用意して頂いたスライドの内容に加えて、口頭で補足説明していただきました。



大成女子高等学校

学校長：額賀 修一
 実施日時：令和5年10月23日(月) 9:30~12:00
 実施場所：教室
 対象：1年生98名、2年生106名
 講師：サルワ サルサピラさん/インドネシア/留学生親善大使
 チャン ズイ クアンさん/ベトナム/留学生親善大使
 田中 カタリネさん/ペルー/各国事情紹介講師

【活動内容】

- 各講師による出身国や文化、言語などについての紹介

【生徒の感想】

- ◆海外の方の話を聞く機会はあまり無いので、貴重な時間でした。話を聞いてインドネシアの食べ物や暮らし、宗教、民族など色々なことを知ることができました。
- ◆日本と比較して説明してくださったので、相違点や類似点を見つけやすく、楽しく話を聞くことができました。インドネシアでも、文字はアルファベットを使用していると知り、驚きました。地図で見るとあまり離れていませんが、日本と文化が大きく異なり、面白かったのが他国についてもっと調べていきたいです。
- ◆ベトナムと日本の学校生活の違いや、季節の違いが印象的でした。講師の方が日本に来てびっくりしたことは、色々なものの値段が高いこと、寒いこと、と言っていました。今日の授業を受けて、自分も違う国に行って、現地の環境や学校生活など体験してみたいと思いました。
- ◆私は世界遺産検定を通じて、ペルーについての知識が少しあったのですが、深くは知りませんでした。今日こうして直接話を聞いたり民芸品を身につけたりできて良い機会だったと思います。
- ◆都市によって民族衣装が異なること、じゃがいもが200種類あること、とうもろこしや豆が多く取れること、雨や雪が降る地域と全く降らないところがあり、世界遺産が沢山ある、と沢山の魅力に触れて、私もいつか行ってみたいと思いました。



【先生の感想】

- ◆いずれの講師の方もパワーポイントなどをご用意いただき、生徒が飽きないよう工夫されていました。
- ◆今回ワールドキャラバン講師として初参加の留学生の方々にお越しいただきました。最初にお会いした印象は、お二人とも緊張されている様子でしたが、しっかり準備をされており、生徒たちも興味を持って授業に参加している様子でした。また講師の方には民族衣装をお持ちいただき、実際に羽織ってみた生徒もいて異文化交流を楽しんでいるようでした。



茨城県立土浦第二高等学校

学校長：深谷 靖
 実施日時：令和5年11月8日(水) 14:15~16:40
 実施場所：教室
 対象：1年生320名
 コーディネーター：川又 喜代美さん
 講師：クラウ カーリスマ プンガ チャンドラさん/インドネシア/留学生親善大使
 フィナンデャ ファティハサリさん/インドネシア/留学生親善大使
 パク セヨンさん/韓国/留学生親善大使
 張 若男さん/中国/留学生親善大使
 デイン チャン トアンさん/ベトナム/留学生親善大使
 エブラヒム マスクートさん/イラン/各国事情紹介講師
 赤塚 ダヤナンダニさん/スリランカ/各国事情紹介講師

【活動内容】

- 各クラスに講師2名が担当し、一人20分程度のプレゼンテーションを行い、その後グループで交流。
- 質疑応答

【生徒の感想】

- ◆他の国のことももっと知りたいと思わせてくれるワールドキャラバンでした。これからの世界を生きるためには、ワールドパートナーシップが必要で、他国との協力のもと、世界を形成していかなくてははいけません。国際関係を良好にしていくためにも、外国のことを積極的に調べて、他国を尊重できる世の中にしていきたいです。
- ◆日本で今問題になっている介護者不足に対し、ベトナムでは「自分の家族を介護することは当然だ」と話していて驚きました。もし、私が発表者だったら日本人の考え方を何と説明するか考えさせられ、この機会に日本について見つけ直そうと考えました。
- ◆今まで教科書などで他国の様子を学ぶことはありましたが、その国の人の言葉で聞くと、日本との異文化についてより深く知ることが出来ました。日本は昔から他の国と隔てていて、独自の文化が発達していると聞いたことがあります。自分たちは自国の一部しか知らず、他国のことはもっと知らないと思ったので、講師の方のように、間違いを恐れず交流する心の持ち方を生かしていきたいです。



【先生の感想】

- ◆各講師の方々が、この行事に向けて大変な準備をされており、感謝の思いでいっぱいです。スライドもとても素敵な仕上がりで、生徒が興味を持つクイズも用意されており、普段はなかなか見られない生徒の笑顔に、大変うれしい思いになりました。日本語を上手にを使って、自分の国について話される講師の姿を見て、同じ人間としての親近感を持ち、もっとその国について知りたい、自分の世界を広げたい、と考える生徒が出てきたことが何よりも収穫です。近い将来、広い視野で世界を考え、今より平和な世の中を作ってゆく生徒たちが、このような体験をすることは大変意義があると考えます。

茨城県立つくば特別支援学校

学校長： 中村 千秋
実施日時： 令和5年9月7日(木) 13:30~14:05
実施場所： 会議室
対象： 中学部2年6名
講師： トロプチン ニキタさん/ウクライナ/
留学生親善大使
 ラマ サミナさん/ネパール/
留学生親善大使

【活動内容】

- 講師自己紹介
- 講師出身国の生活（母国の食べ物、服、家など）について
- 体験活動（民族衣装、楽器、ダンス）
- 質疑応答 ● 集合写真撮影 ● 感想発表

【生徒の感想】

- ◆ ウクライナとネパールの言葉や文化、料理などについて知れてとても楽しかったです。
- ◆ ウクライナ語で「ありがとう」という意味の単語を覚えて、最後の感想発表時にその言葉を使うことができました。そしてこれから、もっと色々な言葉を覚えたいと思うようになりました。
- ◆ ウクライナの民族衣装を着ることができて嬉しかったです。
- ◆ 講師のお二人がとても優しくて、楽しい時間を過ごすことができました。



【先生のご感想】

- ◆ 動画や写真等視覚的な教材を用意して丁寧に説明してくださったので、外国の生活について分かりやすく知ることができました。また普段関わることのできない外国の方と直接交流できたことは、生徒にとって大変良い経験になりました。お二人の講師がいらしたことで、日本との文化の違いが分かり、良かったです。
- ◆ 講師の方々との連絡調整や、当日の流れを考えるなど、難しいと感じることもありましたが、子ども達が異文化に興味を持って、積極的に活動に取り組んでいて良かったです。
- ◆ 講師の方2名とも、資料等をたくさん準備して頂いたのに、時間が短かったことが心残りです。次の機会があれば、もっと十分に交流できる時間を設けたいと思います。



那珂市国際交流協会

会長： 大和田 和男
実施日時： 令和5年10月14日(土) 13:00~15:30
実施場所： ふれあいセンターごだい 多目的室
対象： 市民、那珂市国際交流協会会員 25名
講師： チン テク チングさん/マレーシア/
留学生親善大使

【活動内容】

- 出身国マレーシアの紹介
- 質疑応答 ● 交流会

【参加者の感想】

- ◆ マレーシアについて新たな知識を得ることができ、日本との違いについてもよく理解できました。
- ◆ マレーシアの紹介を聞き、日常では触れられない文化を知りました。
- ◆ 講師の方の日本語がお上手で、紹介内容もよく理解できました。



【担当者の感想】

- ◆ 多くの参加者が講師の方のお話を熱心に聞き、積極的に講師へ質問する姿が見られました。またセミナー後に開催したお茶会（交流会）では、マレーシアのお菓子や飲み物について、講師の方と参加者が和やかに話しており、交流を楽しむ様子が見られました。
- ◆ マレーシアについて、パワーポイントや写真を使いながら、丁寧にかつ分かりやすく説明していただき、参加者からも非常に好評なセミナーとなりました。海外出身の講師の方と交流できたことは、参加者にとって異文化を知るための大変貴重な機会となりました。
- ◆ 丁寧に、わかりやすく説明していただき、非常に良い内容のセミナーとなりました。また、質疑応答やお茶会（交流会）の際には、参加者からの多くの質問に真摯に対応していただきました。マレーシアの文化や、日本との違いを知ることができ、参加者も非常に満足していました。

素晴らしい講師を紹介していただき、ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



ワールドキャラバン 活用のバリエーション

ワールドキャラバンには、国際理解を深めるための色々な活用法があります。イベントや交流会等、目的に合わせた場面でご活用ください！



民族楽器演奏体験

(学校法人緑丘学園 EIKOデジタル・クリエイティブ高等学校 水戸本校)



民族舞踊

(龍ヶ崎市立松葉小学校)



各国料理教室

(つくばみらい市立伊奈公民館)



オンラインでの実施

(守谷市立郷州小学校)



国際理解教育ワークショップ

(牛久市国際交流協会)



JICA海外協力隊体験談

(水戸英宏小学校)



留学生シンポジウム

(茨城県高等学校国際教育研究協議会)



NGO団体の支援活動紹介

(小美玉市立美野里中学校)

* 活用例の詳細につきましては、背表紙(3) ワールドキャラバン活用の例をご覧ください。



ワールドキャラバン 実施校／団体一覧表

No.	派遣先	開催日
1	牛久市国際交流協会（1/4）	令和5年 6月2日
2	メサフレンドシップ（1/2）	令和5年 6月6日
3	茨城県高等学校国際教育研究協議会（1/2）	令和5年 6月9日
4	銚田市立大洋小学校	令和5年 7月5日
5	小美玉市立小川南小学校	令和5年 7月10日
6	茨城県立水戸桜ノ牧高等学校	令和5年 7月11日
7	学校法人緑丘学園 EIKOデジタル・クリエイティブ高等学校 水戸本校	令和5年 7月19日
8	つくばみらい市立伊奈公民館（1/4）	令和5年 7月22日
9	公益財団法人 水戸市国際交流協会	令和5年 7月23日
10	つくばみらい市立伊奈公民館（2/4）	令和5年 7月29日
11	茨城県立図書館（1/2）	令和5年 7月30日
12	牛久市国際交流協会（2/4）	令和5年 8月10日
13	茨城県立つくば特別支援学校	令和5年 9月7日
14	下妻市立大宝小学校	令和5年 9月12日
15	小美玉市立玉里学園義務教育学校	令和5年 9月13日
16	茨城県高等学校国際教育研究協議会（2/2）	令和5年 9月13日
17	茨城県立鹿島高等学校附属中学校（1/2）	令和5年 9月14日
18	茨城県立伊奈特別支援学校	令和5年 9月15日
19	メサフレンドシップ（2/2）	令和5年 9月19日
20	茨城大学教育学部附属特別支援学校（1/2）	令和5年 9月21日
21	水戸内原国際交流ふれあいの会（1/4）	令和5年 9月23日
22	石岡市立杉並小学校	令和5年 9月27日
23	ひたちなか市立東石川小学校	令和5年 9月27日
24	茨城県立協和特別支援学校	令和5年 9月29日
25	水戸内原国際交流ふれあいの会（2/4）	令和5年 10月7日
26	茨城県八千代町（1/3）	令和5年 10月8日
27	那珂市国際交流協会（1/2）	令和5年 10月14日
28	桜川市国際交流協会	令和5年 10月15日
29	茨城県立結城第二高等学校	令和5年 10月16日
30	大成女子高等学校	令和5年 10月23日
31	茨城県立友部東特別支援学校	令和5年 10月25日
32	筑西市立新治小学校	令和5年 10月26日
33	つくば開成高等学校	令和5年 10月27日

No.	派遣先	開催日
34	茨城県立並木中等教育学校	令和5年 10月30日
35	つくばみらい市立伊奈公民館（3/4）	令和5年 11月4日
36	茨城県立土浦第二高等学校	令和5年 11月8日
37	牛久市国際交流協会（3/4）	令和5年 11月10日
38	神栖市立軽野東小学校	令和5年 11月15日
39	稲敷市姉妹都市交流委員会	令和5年 11月18日
40	茨城大学教育学部付属特別支援学校（2/2）	令和5年 11月24日
41	つくば国際大学高等学校	令和5年 11月28日
42	茨城県立盲学校	令和5年 11月29日
43	茨城県立石岡特別支援学校	令和5年 11月30日
44	牛久市立おくの義務教育学校	令和5年 12月1日
45	水戸内原国際交流ふれあいの会（3/4）	令和5年 12月2日
46	つくばみらい市立伊奈公民館（4/4）	令和5年 12月2日
47	日立市立坂本中学校	令和5年 12月12日
48	茨城県立茨城東高等学校	令和5年 12月12日
49	茨城県立美浦特別支援学校	令和5年 12月15日
50	清真学園高等学校・中学校	令和5年 12月16日
51	茨城県八千代町（2/3）	令和5年 12月16日
52	東洋大学附属牛久高等学校	令和5年 12月18日
53	北茨城市立関本小学校	令和5年 12月19日
54	牛久市国際交流協会（4/4）	令和6年 1月19日
55	茨城県立土浦特別支援学校	令和6年 1月23日
56	那珂市国際交流協会（2/2）	令和6年 1月30日
57	水戸内原国際交流ふれあいの会（4/4）	令和6年 2月3日
58	茨城県八千代町（3/3）	令和6年 2月4日
59	つくば市立沼崎小学校	令和6年 2月13日
60	古河市立古河第六小学校	令和6年 2月20日
61	茨城県立鹿島高等学校附属中学校（2/2）	令和6年 2月15日
62	茨城県立結城特別支援学校	令和6年 2月22日
63	愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校	令和6年 2月26日
64	筑西市国際友好協会	令和6年 3月3日
65	日立市立坂本小学校	令和6年 3月18日
66	茨城県立図書館（2/2）	令和6年 3月20日



ワールドキャラバン 実施要領

(詳細は公益財団法人茨城県国際交流協会のホームページ <https://www.ia-ibaraki.or.jp/> をご覧ください。)



01 派遣内容

(1) 派遣先

茨城県内の小・中学校及び義務教育学校、高等学校（中等教育学校を含む）、特別支援学校、生涯学習関連団体

(2) 派遣する人材

A 外国人講師

- ① 留学生（（公財）茨城県国際交流協会が任命した茨城県留学生親善大使等、茨城県内の大学や高校に在学する留学生）
- ② 在住外国人（県内に在住する外国人（各国事情紹介講師）や県の国際交流員（CIR）、外国語指導助手（ALT））

B 日本人講師

- ① 参加型学習を実施するファシリテーター（異文化理解、開発途上国への理解を深めるためのゲーム、ロールプレイなどを実施します）
- ② 県内のNGO等国際交流協力活動実践者及び海外活動経験者
- ③ JICA海外協力隊及びJICA派遣専門家等

C コーディネーター（日本人）

企画内容について、派遣先の相談に応じ、講師との連絡・調整、当日の進行役をします。

(3) ワールドキャラバン活用の例

- ① 総合的な学習の時間で、世界の遊びや民族衣装、舞踊など披露してもらう。（小・中学校及び義務教育学校）
- ② 道徳や特別活動、社会科等の授業で、JICA海外協力隊の現地活動の様子等を紹介してもらう。（小・中学校及び義務教育学校）
- ③ 道徳の授業等で、留学生とともに昨今の社会問題について出身国の状況も踏まえながら話しあう。（高校）
- ④ 地理歴史・公民等の授業に外国人を講師として招き、出身国・地域の社会情勢や風土について紹介してもらい、理解促進の一助とする。（高校）
- ⑤ 世界の料理を紹介してもらい食文化の交流を図る。（生涯学習関連団体）
- ⑥ 県内のNGO等国際交流協力活動者を講師として招き、団体の活動内容に関する講演を行ってもらい、国際協力や国際理解・国際貢献の重要性を知る。（生涯学習関連団体）
- ⑦ ファシリテーターの進行により、シミュレーションゲームやロールプレイ、ワークショップを体験する。

02 申し込み手続き

○派遣を希望する学校は、派遣申請書を募集期間内に協議会事務局まで提出してください。

募集期間 令和6年4月1日～令和6年6月30日

事業実施期間 令和6年9月1日～令和7年2月28日

※学校・団体で費用負担可能な場合、この限りではありません。ご相談ください。

国際理解教育教材「ワールドボックス」貸出しのご案内

県内の国際理解教育推進のための役立つ教材（各国の国旗、民族衣装、工芸品、図書等）を各学校や生涯学習センター、その他国際理解教育を実施する個人・団体に貸出します。

教材の紹介、貸出方法や申請書のダウンロードは、公益財団法人茨城県国際交流協会のホームページをご覧ください。

お問い合わせ先

茨城県国際理解教育推進協議会事務局（公益財団法人茨城県国際交流協会内）
〒310-0851 茨城県水戸市千波町後川745 ザ・ヒロサワ・シティ会館分館2階
TEL：029-241-1611 FAX：029-241-7611 E-mail：iia@ia-ibaraki.or.jp

